



| | |
|--------------|---|
| Title | 語文 第51輯 編集後記/奥付 |
| Author(s) | |
| Citation | 語文. 1988, 51 |
| Version Type | VoR |
| URL | https://hdl.handle.net/11094/68791 |
| rights | |
| Note | |

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

編集後記

▽第五十輯の『語文』から大阪大学国語国文学会の機関誌として新しい企画で刊行することとなり、今回の第五十一輯も新しい試みの編集となつた。

▽本輯も、深沢三千男、川崎剛志両氏の国文学の論考に、藤田保幸、高山善行両氏の国語学の論考があり、資料紹介、書評、紹介と多彩な内容のものとなり、編集する側としても心強く感じた次第である。

▽今後も新編集の『語文』を軌道に載せるために、会員の方々の絶大なる御協力を願いしたい。スペースの制約はあるが、多くの方々から種々な分野の様々な形の成果を御寄せ頂ければと願う次第である。

▽来春一月十五日に行われる大阪大学国語国文学会の発表その他の企画にも積極的に御参加頂ければ幸いである。

(前田 富祺)

語文 第五十一輯

昭和六十三年十月二十日 印刷
昭和六十三年十月二十五日 発行

発行者 大阪大学国語国文学会

〒550 大阪府豊中市待兼山町一-一

大阪大学文学部国語国文学研究室

代表 信多純一

振替口座 大阪 四一二四六四一

電話 (06) 844-1151

印刷 昭和堂印刷所